

## ご案内

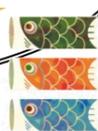
保存協議会 旧栖原家住宅の見学会を開催します

日時：令和4年5月15日（日） 15時～16時半

※どなたでもご参加できます。



5月3日～5日の3日間、甚風呂に来館して  
いただいたお子様（先着150名）に折り紙  
で作ったかぶとをプレゼントいたします。



## ～ 湯浅の歴史 ～ 第二回

### 飛鳥奈良時代の湯浅（万葉の道）

奈良に都があった500～700年代都の貴族たちは、体を癒すために和歌山の白浜地方に奈良から和歌山に通じる道があり、藤白峠より有田の糸我峠の尾根を通り栖原に抜け、船で由良方面に向かいました。その頃は熊野参詣もなく白浜温泉に旅するのが目的で造られた街道で道路では遊宴が行われ、世界に誇る最古の歌集の万葉集にこの道のことを当時の歌人や貴族たちが詠んだ歌がたくさん残されており、和歌山から白浜までの道中に詠まれたこの道を「万葉の道」と称していました。この湯浅の道中の様子を詠んだ歌があります。

あてす 過ぎて いとが やま さくらばな ち  
「足代過ぎて糸我の山の櫻花、散らずあならむ還りくるまで」

ゆら さき しおひ しらかみ いそ うらみ こ  
「由良の崎、潮干にけらし白神の磯の浦廻をあえて漕ぐなり」

## 湯浅伝建地区保存協議会

皆様に瓦版をより身近に感じてもらうために、まちなみ瓦版の記事を募集しています！ご意見・ご要望などございましたら、右記のまちなみ瓦版編集委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

### 編集委員

半邊 宗五  
妻木 良三  
楠山 吉雄  
油谷 太一  
竹田 滋子



# まちなみ瓦版

■令和 4年 5月 2日

■第 62 号

■発行：湯浅伝建地区保存協議会

■発行責任者：加納 芳明

## 保存協議会会長 交代のお知らせ

令和4年4月1日付で湯浅伝建地区保存協議会会長になりました、北町区の加納芳明です。前会長の木下智之氏は、初代会長 廣岡照秋氏の跡を継ぎ、平成20年以来、14年間の長きにわたり協議会の運営はもとより、甚風呂の民俗資料館として公開等に尽力されました。また、木下氏発案の甚風呂での湯札、豆わらじの制作販売は当協議会の収益事業になっております。

今般、木下氏は NPO 湯浅まちなみの会会長となられ、イベント等の運営を協議会から分離し引き継ぐこととなりました。こうした経緯で加納が協議会会長の任にあたることになりました。協議会の役員は、私、木下副会長、半邊副会長、三橋副会長で従来通りです。

現在コロナ禍のため、来訪者は大きく減少していますが、この問題が解消すれば再び伝建地区は活気を取り戻すでしょう。町並みの景観・住環境の保全・向上を図るとともに、活気のある町づくりを少しずつでも着実に進めることができると思います。また、協議会の運営についても、地域住民のご意見をもっと広く集められるように役員の新規、各部会の見直し・活性化が課題のように思います。これまで同様、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

湯浅伝建地区保存協議会  
会長 加納 芳明



## 保存協議会 役員会を開催しました

日時：令和4年3月17日（木）午前10時より

場所：甚風呂別館



### 【協議内容】

#### ●第8回五月人形めぐりについて

開催は、4/9～5/8の日程で行うことを確認しました。

準備費用については、3月末まで保存協議会が持ち、4月からはNPO 湯浅まちなみの会に引き継ぎます。

#### ●令和4年度総会について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2年間会議を開けていないので、今年度は開催する方向で進めます。また、総会と併せて、保存協議会主催で見学や勉強会を行うことを検討します。→詳細は4ページにて

#### ●第44回 全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会について

今年度の場所は、広島県呉市（呉市豊町御手洗）で、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、役員にのみ周知するとのことです。

#### ●役員体制について

今年度末でNPO 湯浅まちなみの会の会長に木下会長が就任することから、保存協議会の会長を交代することになりました。また、令和5年度以降、各地区に副会長を設けて役員体制を強化してはどうかという話があり、地区で集まる機会に検討してもらうことにしました。

#### ●北橋南側信号機設置の検討について

昨年12月20日の役員会で議論した、北橋の南側に信号機を設置できないかという件について、保存協議会から各区長に地区で検討してもらうようお願いすることになりました。

## 「NPO 湯浅まちなみの会」 発足のお知らせ

令和4年4月1日付で「NPO 湯浅まちなみの会」が発足いたしました。

当会では、湯浅伝建地区保存協議会で主催しておりましたイベント、吊るし飾り12000体プロジェクトが主催しておりました「吊るし飾り作品展」のイベントを引き継ぐ団体としてスタートいたします。

平成18年12月に、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され「湯浅伝建地区保存協議会」が発足いたしましたが、既に15年の月日が経過し発足当時にご活躍をいただいた方々も体力的にイベントを開催していくのが難しくなっております。

湯浅伝建地区保存協議会は、伝建地区内4つの地区の住民及び所有者で構成されておりますが、イベント開催に当たっては、外部の方々より支援を受けているのが現状です。また、吊るし飾り12000体プロジェクトも当初の目標を達成し、その役割が終了しましたので、吊るし飾りの展示を当会に委ね「吊るし飾りのゆれる町」をキャッチフレーズに、今後も春と秋の節句に展示して行きます。

「NPO 湯浅まちなみの会」は、伝建地区の住民や町内・町外のメンバーで構成されております。尚、当会の発足にあたりまして、会長に就任しました木下智之につきましては、湯浅伝建地区保存協議会の会長職を退任することになりましたので、お知らせいたします。今後とも当会の運営に、ご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

NPO 湯浅まちなみの会  
会長 木下 智之



## 第8回 五月人形めぐり

NPO 湯浅まちなみの会が主催する、ゆあさ端午の節句飾りが5月8日（日）まで開催されています。



今年は、新型コロナウイルス感染症対策を行い、伝建地区を中心に20カ所に展示しています。

天神飾りと武者飾りの文武両道に秀でると祀られた、それぞれの人形に、子どもの健やかな成長を願う力強さが感じられます。

